

令和6年11月15日

保険薬局 各位

一般社団法人 静岡市薬剤師会
担当副会長 坂井美文

第27回 静岡市立静岡病院院外処方協議会報告書

開催日時：令和6年10月9日（水）19:00～19:25

場 所：静岡市立静岡病院 西館11階 第1会議室

出席者：委員長 望月英明（薬剤部長）

委員 傳刀啓至（医事課長）、坂井美文（静岡市薬剤師会副会長）、
浦田千裕（静岡市薬剤師会理事）、柴田昭（清水薬剤師会専務理事）、
田中晴康（日本調剤静岡薬局）

アドバイザー 大倉瑞穂（医事課）

事務 伊藤弘（薬剤科）、平川奈津美（薬剤科）

オブザーバー 森橋陽子（ニチイ）

1. 前回の議事録確認

特になし

2. 第16回薬薬連携アドヒアランス研究会について

2025年9月10日（水）19:00～ WEBにて開催予定

3. 疑義照会等の報告

・4月290件、5月269件、6月217件、7月257件

プロトコル運用について

- ・成分が同一の銘柄変更、剤形の変更に関して
⇒成分が同一な製品が対象のため、それ以外は疑義照会で対応
（実例：外嗽用ハチアズレ顆粒→アズノールうがい液、エリスロシン→エリスロマイシン）
- ・別規格がある場合の処方規格の変更に関して
⇒薬剤費がかなり増加する際には引き続き丁寧な説明を（「患者了解済み」を記載）
- ・別規格がある場合の処方規格の変更に関して
⇒適宜減量等の指示がある際には大きい規格への変更は調節に問題が無いか疑義照会
- ・先発にしかない容量の外用薬に関して
⇒現時点ではプロトコルにないため疑義照会
（実例：ナパゲルンローション 50mL→フェルビナクローション 60mL）
- ・生保への先発品に関して
⇒疑義照会
- ・変更不可のチェックに関して
⇒疑義照会
- ・コメント対応に関して⇒コメントでの対応報告は、服薬情報等報告書で
（実例：出荷制限下等でのコメント記載あり；フレックスタッチ→フレックスペン、

コメントでの剤型変更；クリーム→軟膏)

4. 過誤報告の状況について

3件

- ・規格間違い：(正)アムロジピン OD錠 10mg1錠分1
→(誤)アムロジピン OD錠 5mg1錠分1
- ・規格間違い：(正)メトホルミン錠 250mg2錠分2
→(誤)メトホルミン錠 500mg2錠分2
- ・同効薬の確認不足：(既)タケキャブ OD錠 20mg
→(追加)ランソプラゾール OD錠 15mg

5. 苦情・トラブルの報告

なし

6. 保険薬局からの要望等

エリスロシンの供給なく代替えも困難な状況

7. 病院からの報告・要望等

- ・電子処方箋について
⇒月に数枚程度の発行

8. その他の審議事項（質疑応答）

特になし

9. 今後の開催日程について

次回 令和7年2月 開催予定